

小菅村 

第62号

2023年8月発行

議会だより

発行：小菅村議会

編集：小菅村議会広報編集常任委員会

〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村4698番地

☎ 0428(87)0111 <http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp>



雨上がりの夜に

雨上がりの夜。水たまりのリフレクションを探しに小菅の湯へ。
正面入口向かいに大きな水たまりがちょうどあり建物を広く写すことができました。

小菅の湯にて撮影

写真提供：小山貴之さん（川池地区在住）

こ、こすげーインスタグラムに取り上げられた、普段見られない小菅の湯の姿を写したインパクトのある一枚。普段見慣れた景色も、視点を変えると違った一面を見つけることができますね。

目次

- 6月定例会
- 議会4年間の活動目標
- 一般質問
- 議会活動報告
- 子どもは村の宝
- 議会活動状況
- 議会だよりを読んで
- 編集後記

令和5年 6 月定例会で決まった主なこと

令和5年6月19日(月)から6月23日(金)までの5日間の会期で開催されました

審議された議案

● 村長提出議案・・・14件

● 議会提出議案・・・1件

補正予算

一般会計予算、特別会計予算を可決しました

一般会計補正予算(第1号)

(万円未満四捨五入)

● 補正予算額・・・3,650万円の増額

● 合 計・・・17億7,982万円

【主な内容】

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金
- 再任用職員等人員費増額

行政報告

株式会社源令和5年度事業計画報告

各部門の令和5年度事業計画について報告を受けました

令和4年度小菅村一般会計繰越明許費繰越計算書報告

様々な理由により、令和4年度予算を繰越して令和5年度に行う事業について報告を受けました

令和4年度小菅村一般会計継続費繰越計算書報告

2か年に跨って行う事業について、報告を受けました

専決処分

4件の専決処分を承認しました

● 小菅村税条例の一部を改正する条例専決処分の承認を求める件

● 小菅村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例専決処分の承認を求める件

● 小菅村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例専決処分の承認を求める件

● 令和5年度小菅村一般会計補正予算専決処分の承認を求める件

● 補正予算額 132万円の増額
● 内容 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業

※専決処分とは、緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がなかったため議会に先立ち地方自治体の長が案件を処分することです。処分後一番近い議会で報告し、議会の承認を得ることになっています。



工事請負契約締結

● 小菅村中組山沢地内配水管布設替工事請負契約締結の件

・工事名 小菅村中組山沢地内配水管布設替工事
 ・工事場所 小菅村中組地内
 ・契約金額 5,313万円
 ・請負人 小菅村4697番地
 大嶺興業株式会社
 代表取締役 古家寿光

人事案件

● 小菅村農業委員会委員の選任について同意しました

小菅村農業委員

田倉好房氏
 藤木忠廣氏
 古家嘉氏
 守屋高義氏
 加藤源久氏
 石坂真悟氏
 盆子原武尊氏
 降矢茂助氏



小菅村議会4年間の活動目標

私達小菅村議会は、村民の皆様と源流を誇り、みんなが協働する村づくりを基本に、21世紀に残る「みんなでつくる源流の輪 こすげ」を目指していきます。また、社会経済環境が大きく変化する中で、本村でも地方創生に基づく特色ある村づくりが求められています。

そこで小菅村議会では小菅村が目指す方向等を検討・検証していくために、次のとおり4年間の活動目標を定め、議員が一丸となって検討及び研究等を行い、その成果を政策提案・提言としてとりまとめ、むらづくりに取組んでいくこととしました。

重点課題

- 各種産業振興及び観光振興等、施策について検討・研究を行う
- 野生鳥獣による農林水産物の被害防止対策等について検討・研究を行う
- 住民の生活交通の維持・確保について検討・研究を行う
- 国道139号線の利便性向上・災害に強い道路づくりに向けた要望活動の推進を行う
- 上野原丹波山線、今川トンネル開通に向けた要望活動を継承・推進するとともに新たに鶴峠トンネルの検討・研究を行う
- 人口減少対策、空き家対策、若者の定住対策、子育て支援、雇用確保等の検討・研究を行う
- 国土強靱化計画に基づく災害に強い地域づくり、防災対策の検討・研究を行うとともに議会としての関わりについての検討・研究を行う
- 教育水準の確保、教職員の適切な配置及び複式学級の解消など特色ある小菅教育に必要な対策の検討・研究を行う
- 幼児から高齢者まで安心・安全に暮らせるための医療・福祉・保健体制の充実を推進するとともに今後のあり方についての検討・研究を行う
- 後世まで続く多摩川源流の村づくり、景観づくりについて検討・研究を行う
- DX事業・SDGsの推進、地域新エネルギーの検討・研究を行う

6月定例会では2名が村政について質問を行いました

一般質問とは、議員が村長等に対して、行政全般の事務の進み具合や将来の方針などの諸問題について質問することです。

一 般 質 問

小中学校教育環境の整備

問 小中学生の学習塾等の利用状況は？

答 【教育長】 小学生は学習塾3名、17名が習字・ピアノ・スポーツなどの習い事に取り組んでいる。全校児童26名中、約12%が学習塾で学んでいる。中学生は、5名が大月や上野原の私塾へ通い、家庭教師の利用が1名、在宅型の受講が1名おり、全校生徒15名中、約47%が学習塾で学んでいる。

問 第5次総合計画で目指している公営塾の開設について、今後の取り組み方針は？

答 【教育長】 既に学校経営・運営研究会の会議議題に公営塾を取り上げ、様々な方面からの議論や、中学校の教職員へのアンケート調査も実施した。設置には、保護者や子どもたちのニーズを知るアンケート調査などの実施、先進地や私営塾のICTを活用したメタバース講義のありようなどの視察を検討していく。さらに、学校経営・運営研究会及び定例の教育委員会の場を中心に据えて、実際の運用などの詳細を包括的に検討し、設置の方向を固めていきたい。公営塾の設置により、学校教育の軽視や公営塾の公共性を損なうことのないよう、児童生徒の学力向上に資する設置を進めていきたい。



▲ 学習指導を行う放課後子ども教室の様子



青柳 万寿男

人口減少への対策

問 小菅村の過去5年の人口増減数と主な要因は？

答 【総務課長】 過去5年間の人口の推移を見ると、平成31年4月現在で704人、令和5年4月現在で648人と56人減少している。主な要因としては、転入者の5か年平均が36.6人に対し、転出者の数は42.6人と転出超過が続いている。また死亡者数の5か年平均10.2人に対して出生数が2.6人となっている。

問 村の第5次総合計画で目指している、Uターン、Iターン、Jターン推進による人口維持に向け、具体的な取り組みは？

答 【総務課長】 本年度も村営住宅の建設をはじめ空き家の確保に向けた改修補助金の確保、2分の1村人ポイントカードを継続実施、村内事業者の新規採用者数の増加を図るべく、昨年度からクラフトビール会社の誘致事業を展開している。

また、源流親子留学の受入れ再開や公営塾の開設、生活環境の改善としてドローン配送の拡充、保育所では1歳児の受入れによる子育て世代への支援、保育料の減免、地域おこし協力隊による人材の確保と定住の促進、新たな観光の目玉としてのマウンテンバイク事業など、これまでの取組を継続、発展させるとともに、新たな事業に取り組みながら人口維持に向けて事業を展開していきたい。

問 医療費の無料化について、県内で小菅村だけが15歳の年度末までとなっている。18歳年度末まで無料化が実施できないか？

答 【村長】 山梨県では小菅村だけ無料化が15歳の年度末までというご指摘もいただいたので、できる方向で進めていけたらと思っている。

小菅村の空き家の利活用推進

問 第5次総合計画の最重要プロジェクトに位置づけしている、空き家の利活用促進に向けた人材確保やプロジェクトの体制づくりの進捗状況は？

答 【源流振興課長】 令和5年度より源流振興課2名体制で、その業務を行っている。本年度は空き家調査の実施を優先し、過去のデータの更新、また新規案件の掘り起こしを順次進めていきたい。人材確保については、先日参考事例として近隣の村で若者が不動産業を起業した話を聞き、取組内容についてヒアリングを実施した。ヒアリング結果に基づき、メリット、デメリット、行政と民間との業務分担などを現在整理している。小菅村における進め方について順次協議を重ねていく。また地域おこし協力隊を含めた人材登用、さらには広域連携等を考え、進めていきたい。

問 最重要プロジェクトをどのように進めていくか、どのように積極的に取り組むのか？

答 【村長】 民間でも動きがあると聞いている。そういった民間を活用してマッチング等をしていきたい。限りある資源なので、懸命に進めていきたい。

※一般質問については、要点をまとめ割愛して掲載しております。



細川 春雄

小菅村の子育て支援

問 小菅村保育所の保育料、主食・副食費無償化についてどのようになっているか？

答 【住民課長】 保育料は、令和元年10月より完全無償化となっている。本年度より1歳児の受入れも行っているが、時間外保育も含めて所得に影響することなく完全に無償化で対応している。保育所での主食と副食に関する費用は、食材料費として実費相当分の保護者負担の考え方を維持されることが基本となっているため、小菅村保育所では主食を持参する分を実費相当分として、それ以外の副食及びおやつについては公費で賄っている。

問 主食費の無償化についての考えは？

答 【村長】 学校給食費にも関係してくるが、親御さんには「今日は何を食べているのか」ということに関心を持ってもらうためには、少しお金を払っていただきたいという考えもあるが、無償化も含めて近い将来結論を出したい。



▲ 保育所給食の様子

議会活動報告

古家静男さん 自治功労者表彰受賞

5月26日(金)、甲府市自治会館において全国町村議会議長会表彰の伝達が行われ、古家静男さんが自治功労者表彰を受賞されました。

静男さんは平成19年に村議会議員選挙で当選され、令和5年4月25日まで4期16年議員を務められました。
この度の受賞おめでとうございます。



小菅小学校6年生 議会傍聴

小学校6年生が社会科「わたしたちの暮らしを支える政治」の学習の一環で、6月定例会の傍聴に来ました。緊張した様子でしたが、熱心にメモを取っていました。

子どもたちの感想をご紹介します。

- ・「議長」と言って手を挙げることを初めて知った。
- ・議会では、村民のためにいろいろ話し合っていることが改めてわかった。
- ・議員が質問を言い、それを課長や村長が答えているのが、意外とシンプルだった。
- ・学校の学級の話し合い、代表委員会、児童総会と違ったところや同じところを探すのがおもしろかった。



村内視察を行いました

4月より新たな体制となったため、6月定例会会期中に村内視察を行いました。



▲ 村で購入した土地・建物(川池地区)

▲ ビール工場建設地敷地造成(中組地区)

子どもは村の宝

議会だよりでは保育園児のいる家庭にスポットを当て、お話を伺いました。今回は中組の井狩原住宅にお住まいで、木下満さんの娘家族である小嶺さんご一家にインタビューをしました。

こみね きょうへい

小嶺恭平さん・しずかさん

いろは

ひゅうが

彩映さん(小3)・彪雅くん(小1)

けんしん

剣臣くん(年長)

Q 小菅村に来たきっかけを教えてください。

A 元々は東京都の瑞穂町に住んでいましたが、子どもができてから今後の子育てを考えて、妻の実家のある小菅村にきました。
妻の両親が子どもを見てくれるので、夫婦で働くことができ、助かっています。

Q たいよう組の剣臣くんの好きなことは何ですか？

A サッカー、野球、ブランコで遊ぶことが好きです。
きょうだい3人で、富士吉田市にキックボクシングを習いに行っていることも楽しくて好きです。

Q 子育て支援で村や議会に要望はありますか？

A 村営住宅が今の世帯用でも狭いと感じています。子ども部屋が確保できるような、大きめの村営住宅を建ててほしいです。
また、若者定住促進の貸付について、貸付の上限を上げるなどもっと使いやすくしてほしいです。

子育て中の世帯に直接お話を伺うことができました。
要望にお応えできるよう、議会でも提案してまいります。
小嶺さんありがとうございました。



▲ 彪雅くん(右)

議会のしくみ ～監査委員について～

監査委員は、地方自治法第195条第1項の規定により、地方公共団体が必ず設置しなければならない行政委員会的一种で、本村では識見を有する委員1名と、議会議員から選任される委員1名の2名の委員で構成しています。

民間団体の監査委員は、その団体の会計監査が主業務ですが、村の監査委員は、村の会計に関する監査だけではなく、村や議会・委員会の運営にかかる監査や、財政援助団体、村の出資団体、指定管理者、指定金融機関等に対する監査もできることになっています。

監査実施状況等については、随時議会だよりでお知らせしますので、ご覧ください。

小菅村監査委員会

識見委員 青柳一徳

議員選任委員 青柳万寿男

議会活動状況

令和5年3月～令和5年5月

3月

1日(水)

議会運営委員会
委員長以下3名、奥秋議長、古家副議長出席

7日(火)

～10日(金)

3月定例議会開会 全議員出席

9日(木)

小菅中学校第76回卒業式 全議員出席

17日(金)

小菅小学校第148回卒業式 全議員出席

22日(水)

小菅村社会福祉協議会理事会
奥秋議長出席

27日(月)

上野原市正副議長来村
奥秋議長、古家副議長対応

28日(火)

小菅村議会厚生・経済常任委員会県内視察
全議員出席

4月

3日(月)

小菅村消防団任命式
奥秋議長出席

7日(金)

小菅小・中学校入学式 全議員出席

11日(火)

令和5年度南北都留郡町村議会
正副議長連絡協議会
奥秋議長、古家副議長出席

27日(木)

4月臨時議会(初議会)
全議員出席

5月

12日(金)

第1回町村議会議長会議 議長出席

15日(月)

奥多摩町議会議長へ就任挨拶 正副議長

17日(水)

上野原市議会議長へ就任挨拶 正副議長

第1回町村議会議報編集委員長会議
広報編集委員長出席

23日(火)

～24日(水)

町村議会議長・副議長研修会 正副議長出席

26日(金)

自治功労者表彰式及び町村議会議員研修会
副議長、細川総務教育常任委員長出席

令和5年度富士・東部広域環境事務組合議
会臨時会 議長出席

第44回小菅村商工会通常総会 議長出席



議会だよりを読んで

加藤 弘美さん(東部地区在住)

表紙の写真も楽しみに議会だよりを拝読しています。

議会だよりを通し、村の課題、議会での審議内容、議員の皆様の日々の活動を知ることができます。

議員の皆様には、「こんな小菅村になったらいいな」のコーナーにある子ども達の要望をはじめ、これからの多くの村民の思い、意見を行政へ届けていただき、どの世代も安心して暮らしていくことができる村づくりをすすめていただきたいと思います。機会がありましたら議会を傍聴させていただきたいと思っています。

編集後記

議会だよりを通じて、私たちの活動が分かりやすく村民の皆様にも伝えることを願い進めて参ります。「読まれる議員だより」をモットーに、議会広報編集委員、議会事務局、また村民の皆様にご協力いただき作り上げていきたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。
(議会広報編集委員長 木下大吉)

議会広報編集 常任委員会

委員長：木下 大吉
委員：中川 勇
委員：岡部 一美

